

番号 ばんごう	上の句 かみく	下の句 しもく	作者 さくしゃ
30	おしえてとたのむがじつはかれみてる 教えてと頼むがじつは彼見てる	どきどきしてるかれにはないしょ ドキドキしてる彼にはナイショ	うさぎ
29	学校の帰り道行くあの人の がっこうのかえりみちゆくあのひとの	姿は少し輝いて見え すがたはすこしかがやいてみえ	ヤマト
28	君の背中胸に秘めるその言葉 きみのせなかむねにひめるそのことば	隠した想い叶う日まで かくしたおもいかなうひまで	ぺるん
27	好きな子に会えないときの悲しさは すきなこにあえないときのかなしさは	マリアナ海溝よりも深いよ かくしたおもいかなうひまで	あい
26	私の恋実らなくても諦めず わたしのこいみのらなくてもあきらめず	アタクシ続け実る恋もある あたつくしつづけみのるこいもある	あさ
25	冬の日の空から降りた結晶は ふゆのひのそらからおりたけっしょうは	天から舞った儚い宝石 てんからまっただはかないほうせき	冬に空から降るもの
24	年明けて近づく春と入試かな としあけてちかづくはるとにゆうしかな	冬休みすら苦しむ日々 ふゆやすみすらくるしむひびに	邑々
23	お年玉親戚くれたポチ袋 おとしだましんせきくれたぼちぶくろ	年より先に封を明けてる としよりさきにふうをあけてる	なおね
22	夜の街部活帰りに友達と よるのまちぶかつがえりにともだちと	黒に浮かびし二人の白息 くろにうかびしふたりのしろいき	ほれいざい
21	特急の列車が撥ねるよ粉雪を とっきゅうのれつしゃがはねるよこなゆきを	お茶に駅弁それとパソコン お茶に駅弁それとパソコン	トビウオフィーバー7